



7都P協発第12号
令和7年11月 11 日

東京都知事
小池 百合子 様



一般社団法人 東京都PTA協議会
会長 岡部 健作

要望書

東京都の教育行政におかれましては、積極的な教育施策を展開し、力を尽くしておられますことに感謝申し上げます。また、日頃より当協議会の活動に多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、重ねて御礼申し上げます。

世の中の流れや生活様式の変遷にともない、PTAのあり方や活動にも変化の波が押し寄せていますが、学校と地域を結ぶ要となり、子供たちの健やかな成長を願うというその意義は変わりません。当協議会は都の学校教育との連携を深めながら、都内公立小学校等のPTAが意義を見失わず活動していけるよう、さまざまな支援をしておりますが、こうして保護者の声を行政に届けることも使命のひとつです。以下の要望につきまして、ご検討をよろしくお願い申し上げます。

要望①

PTAが任意団体であり、入退会は任意であることの周知(継続要望)

当会が昨年度、都内小学校のPTAを対象に実施したアンケートでは、「PTA への入会にあたり意思確認(入会手続きなど)を実施している」と回答したPTAが約70%でした。しかしながら、「うちのPTAはまだ強制入会で…」という告白もいまだによく耳にします。「入退会任意を周知すると会員が減ってしまう」と危惧するPTA 会長や校長はまだ多いようですが、コンプライアンスに則った運営を行うことが、PTAのネガティブイメージを払拭するための一番の近道です。当会では「入退会の任意性」についてHPなどで発信をしておりますが、都からも各区市町村教育委員会へ連携・周知を進めていただくことで、都内各校のPTA活動がより良いものになるのではと考えております。

要望②

紙とICTのバランスある教育の推進

都では「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」をはじめとし、ICT環境の整備や、個別最適な学びの実現に向けた取り組みを進めてくださっており、深く敬意を表します。

しかしながら、小学校という発達段階においては、紙教材や手書きによる学習が持つ価値に改めて目を向けていただきたいと考えております。紙による学習は、記憶の定着、集中力の維持、思考の整理など、児童の基礎的な学力形成において重要な役割を果たしていると感じております。教科や学習内容、児童の発達段階など状況はさまざまかと思いますが、紙とICTの使い分けによる記述力の育成、読解力の強化などをふまえた教育施策を推進していただきたく、お願い申し上げます。